

心つないで

No.62

発行

2014年3月23日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部(本部長・金丸正樹)

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

第11陣・三木社長(こうべ保健サービス)、金丸専務(本部)の大船渡報告

「空室」「引っ越し」増える中

「楽しみにしてる！」の声

◎3月第3週は、三木社長と金丸専務が17日から19日にかけて行動しました。高齢コンビでしたが、精力的に翌週の講習会のご案内に動きまわりました。

・現地入りした17日は沢川仮設と轆轤石仮設へ。沢川仮設では、鈴木ハルさんにお会いでき「心つないで2」を差し上げました。また三木社長が神戸で自ら描いた水彩画もプレゼントし、大変喜ばれました。【写真・右】

・18日、小雨のなか、鳥沢仮設・後ノ入仮設、山馬越仮設を訪問。どこも「空室」の張り紙が増えつつあります。また山馬越ではちょうど引っ越し作業中のお宅も。【写真・下】



・ちょうど災害公営住宅への入居抽選の時期で、当たりはずれの結果で悲喜こもごも。神戸での経験も脳裏をかすめました。

・それでも、お会いできた方々は暖かく迎えて下さいました。

・「ああ、ろっこうさんは、ずっと来てくれてるよね」「楽しみに待っています」など、期待を感じました。後ノ入では、ある女性から「わざわざ神戸からご苦労様」と、オロナミンCをいただきました。

・今回の行動では、6仮設で344軒を訪問し、お会いできたのは106軒、お留守は238軒でした。昼間はご不在のお宅へのアプローチが、これからの課題の一つと実感しました。また、戸数が少しずつ減っていくなかで、残っている方々のフォローをどのように続けるのかも課題です。

◎今回の宿泊場所の「廣洋館」は、綾里(りょうり)湾に面しており、海が目の前。

●行動・余話●



ロビーから見下ろす海岸は、今も堤防が崩壊したままの状態です。ご主人にお聞きすると、建物の下2メートルまで津波が押し寄せたと。【写真・左】



◎轆轤石では、行動後に集会室で支援員さんや住民の皆さんと懇談しました。そのときに高齢の女性から「豆腐の味噌漬け」をいただき、食べてみました。甘辛く、お酒のあてにぴったりの旨さです。【写真・上】

